

上高地 山と 新緑と花



puffpuff

大正池から穂高



大正池の淵から息をのむほど美しい穂高です。山肌の淡い新緑と険しい岩肌に残る雪に自然の厳しさを感じ惹かれます。



以前はたくさんあった大正池の立ち枯れの木、焼岳の噴火で少なくなりました。朝の光がもうすぐ下りてきます。



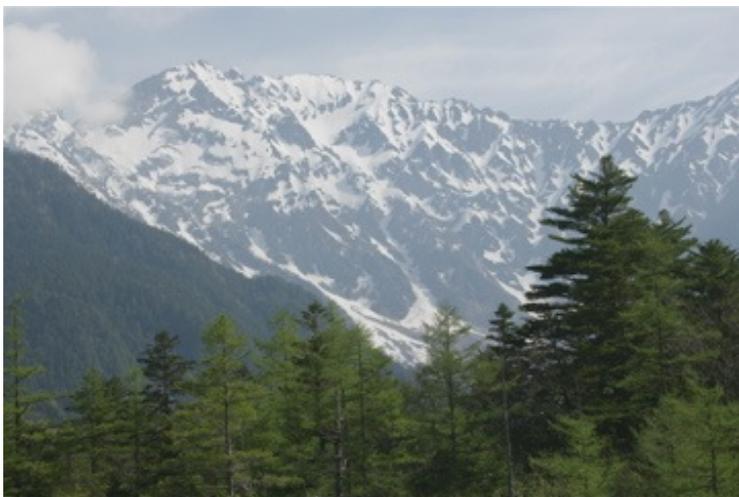
大正池に映る樹。



田代池、透明な水をたたえ静かな朝を迎えます。



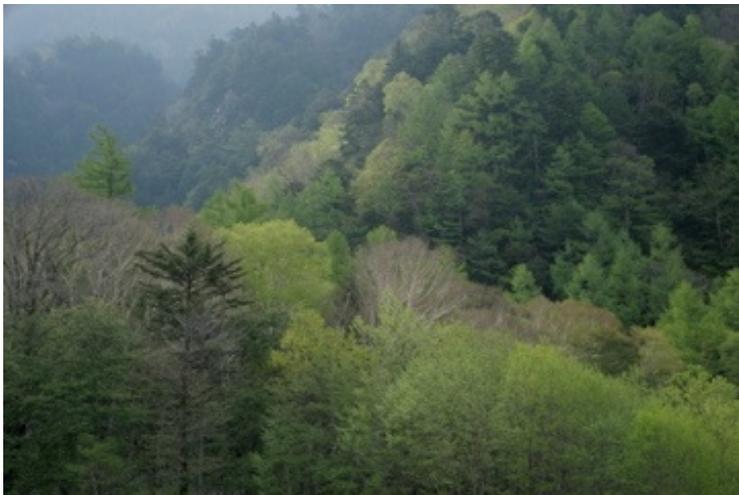
これも田代池、鴨がやってきました。



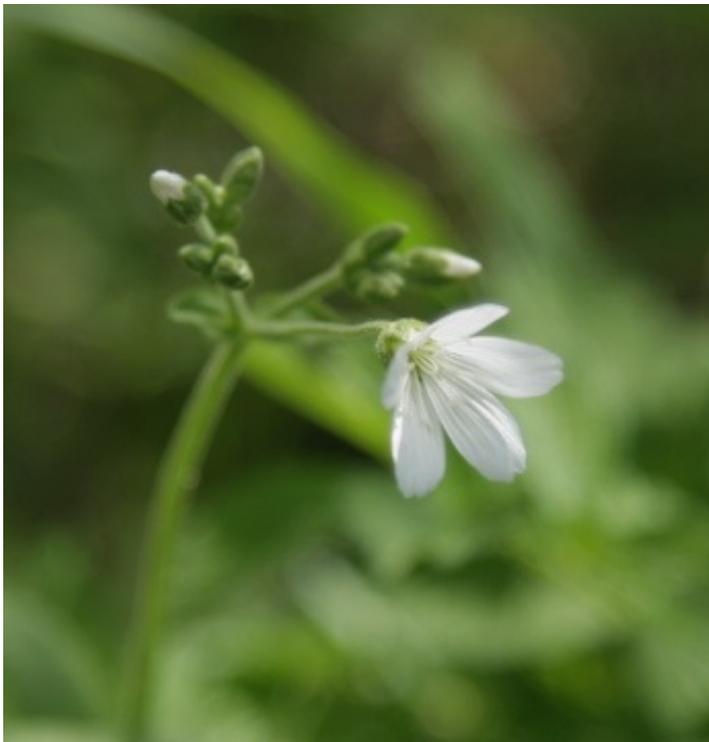
田代湿原から穂高、高く聳える峰は気高く美しい。



老木を伝って芽吹いた葉、生命力を感じます。
。



山肌も春色に染まります。



風景に気を取られていると見逃してしまいそうな小さな花、名前が分かりません。



頬ずりをしたくなるような柔らかい衣を幹にまとった白樺です。



梓川ほとりのズミの花、清楚な白い花びらと初々しい葉が綺麗です。



かっぱ橋の先を川原に下りました。ここからの穂高連峰のなんと美しいことでしょうか。とうとうと流れる雪解けの水も新緑の山を映しています。

徳沢へ花たち

白い花をつけるエンレイソウが多い中で、珍しくピンク色のエンレイソウを見つけました。



サンカヨウの可憐な花、大きな葉に守られるように可愛い小さな花を咲かせます。



ツバメオモト、小さな小さな花なので気づく人は少ないかも知れません。太陽の光があまり届かない徳沢への道では白い花がひっそりと咲いています。



これは薄紫色のタイツリオウギ、面白い形が特徴で目立ちます。



ニリンソウがいっぱいです。ハルニレの老木たちを取り囲むようにニリンソウが満開でした。背丈10cmほどの花が我も我も背比べをするように誇らしげに咲いています。



空に向いて真っすぐ咲くさまはかわいいです。



ハルニレの老木とニリンソウ



春を謳歌するように咲くニリンソウは本当に可愛いです。このニリンソウを目当てに上高地から徳沢まで歩いてきました。

雪に閉ざされた長い冬を越して5月、葉も花も一斉に芽吹く上高地の春でした。

